海を渡るジャンヌ（1991）

LA VIEILLE QUI MARCHAIT DANS LA MER

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
時間 94分
初公開日 1993/10/02
公開情報 デラ

【解説】

主人公レディ・Mに扮するＪ・モローの年老いてもなお衰えない演技。

詐欺師のカップル（？）レディ・Mとポンピリウス。レディが夢中になる若い男ランベルは甲斐甲斐しく彼女に尽くす振りをして（こいつも詐欺師）、若くていい女とみるとその都度よろしくやっちゃってる。黙っちゃいられないレディは自分の若かりし頃の写真までみせて“おねだり”したりするのだが……いくらなんでもって感じで断られてムカついた挙句、仕返しにとテクニシャン・ポンピリウスに若い彼女を誘惑させる。

カッコいいんだか悪いんだか、ウソとホンネが見えかくれする、官能のラヴ・コメディ。ルイ・マルやブニュエル作品に見られるモローの魅力が、この作品ではまた別人のようだ。勇気ある演出である。昔の写真を男に見せるシーンで初めてモローのかつてのイメージがよみがえる。

【クレジット】

監督	ロラン・エヌマン	Laurent Heynemann
製作	ジェラール・ジュルデュイ	Gérard Jourd'hui
原作	サン・アントニオ	
脚本	ドミニク・ルレ	Dominique Roulet
	ロラン・エヌマン	Laurent Heynemann
撮影	ロベール・アラズラキ	Robert Alazraki
音楽	フィリップ・サルド	Philippe Sarde
出演	ジャンヌ・モロー	Jeanne Moreau
	リュック・テュイリエ	
	ミシェル・セロー	Michel Serrault
	ジェラルディーヌ・ダノン	
	ジャン・ブショー	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.